

# 令和5年度 千厩高等学校教職員 働き方改革アクションプラン

千厩高等学校では、「岩手県教職員働き方改革プラン(2021～2023)」に基づき、以下の取組により、「学校における働き方改革」を推進します。

## 1 現 状

＜定量的現状＞

- ◆ 時間外在校等時間が月100時間以上の職員  
R3年度:3人、R4年度:0人(目標が達成できている現状)
- ◆ 時間外在校等時間(週休日等の部活動従事時間を除く)が年間360時間以上の職員の割合 R4年度:46%(目標達成が厳しい現状)
- ◆ 年間年次取得80時間未満の職員の割合  
R4年:20%(5人に1人は取得可能時間数の半分すら取得できていない現状)

＜定性的現状＞

- 教職員の意識
  - ・時間外勤務している教職員が固定している。
  - ・部活動の在り方に関する方針は概ね守られている。
- 管理職のマネジメント
  - ・新たな業務が必要となっても、業務見直し等が進めにくい。
  - ・職員の高齢化にともない、職場全体で負担となる業務の削減が必要である。



## 2 目標・目指す姿

＜R5年度目標＞

- 時間外在校等時間が月100時間以上の職員ゼロの継続
- 時間外在校等時間(週休日等の部活動従事時間を除く)が年間360時間以上の職員ゼロ
- 年間年次取得80時間未満の職員ゼロ

＜目指す姿＞

- 職員が自身の健康管理に努め、いきいきとやりがいを感じながら働いている。
- 職員同士のコミュニケーションが図られ、互いに助け合う姿勢が浸透している。
- これからの学校の在り方などについて、活発な話が飛び交うゆとりがある職場となっている。
- 休むことに気を遣わない風通しのよい職場となっている。

## 3 (2を達成していくための) 具体的取組内容

### ○ 教職員の健康管理

- ・働き方改革プランの「教職員の健康確保等」の取組を確実に実施し、教職員の健康を確保します。
- ・管理職が個々の職員の健康状態や働き方を把握し、積極的に声掛けをします。
- ・自身の月の時間外在校等時間について毎月知らせ、月45時間・年360時間を超えない意識を高めます。
- ・健康状態に配慮した業務分担を図ります。

### ○ 学校における業務改善の推進

- ・学習指導要領に基づき、適切な教育課程および教育活動について検討します。
- ・管理職が積極的に改善案を示します。
- ・週休日等の部活動指導・引率について、積極的な振替取得を推進します。
- ・業務の優先度を考え、これまでの業務を積極的に精選します。
- ・ペーパーレス化、データ共有化により、業務の効率化を進めます。

### ○ 学校及び教員が担う業務の明確化・適正化の推進

- ・教員による会計処理業務の削減を進めます。
- ・職員の地域行事等参加について精選を行います。
- ・働き方改革に向けた取組について、保護者や地域の理解へつながる情報発信を行います。
- ・勤務時間外や休日の部活動については、積極的に部活動指導員の協力をいただきながら活動します。

令和5年5月18日 千厩学校長 佐藤紀文

### (参考)「岩手県教職員働き方改革プラン(2021～2023)」(抜粋)

#### 【策定趣旨】

- 働き方改革の実現により、岩手の未来を担う大切な子どもたちに、質の高い教育の持続的提供につなげる。

#### 【プランの目標】

##### 目標1 県立学校の教員の時間外在校等時間の削減

- (1) 時間外在校等時間が月100時間以上の者をゼロにする。
- |                   |       |     |
|-------------------|-------|-----|
| ・令和3年度実績          | 県立学校計 | 71名 |
| ・令和4年度実績(第3四半期まで) | 県立学校計 | 21名 |

- (2) 時間外在校等時間(週休日の部活動指導従事時間を除く。)が月45時間超、年360時間超の者を下記のとおり削減する。

時間外 在校等時間	取組期間 令和5(2023)年度
月45時間超	ゼロ
年360時間超	

##### 目標2 業務への充実感や、健康面での安心感の向上

令和5年度において、アンケート調査に基づく肯定的実感が令和3年度の実施結果から向上することを目指す。